学校番号	319

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新・社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等	2021　事例でわかる情報モラル（実教出版株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇これからの超スマート社会（society5.0）では、情報及び情報技術を活用することが非常に重要である。そのために、コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、これらの知識や技能の習得に努め、学習への意欲を向上させる。
〇 単に情報機器の使い方の習得にとどまるのではなく、情報社会の利点と問題点を理解し、人権尊重という観点も重視しながら、自ら情報を活用し、主体的に発信する姿勢を養う。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに、効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考えかたを活かすとともに、情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な能力を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 ノート 提出課題	学習状況の観察 プリントの記述 ノート 提出課題 発表	学習状況の観察 プリントの記述 ノート 提出課題 発表 製作品	学習状況の観察 プリントの記述 ノート 提出課題 テスト 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報社会に生きるわたしたち	・情報社会とコミュニケーション ・インターネットの広がり ・情報の収集と信憑性 ・メディアリテラシー ・サイバー犯罪と対策 ・知的財産とその保護 ・個人情報とプライバシー	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 情報社会の利便性や問題点について関心を持ち、主体的に探求しようとしている。 b: 情報社会の利便性や問題点について考察し、適切に判断する能力を身に付けている。 c:問題解決のための技術を身に付け、適切に活用している。 d: 情報社会の利便性や問題点について理解し、問題解決に必要な知識を身に付けている。	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・ノート ・提出課題 ・小テスト ・テスト
	総合実習 文書作成ソフトと表計算ソフトの活用	・文書作成ソフト、表計算ソフトの技能及び表現方法 ・文書作成ソフトと表計算ソフトによる課題作成	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 文書作成ソフトと表計算ソフトに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:文書作成ソフトと表計算ソフトの技能および表現方法について考察し、適切に判断して表現する創造的な能力を身に付けている。 c:文書作成と問題解決のための技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 d:文書作成ソフトと表計算ソフトについて理解し、課題の作成に必要な知識を身に付けている。	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・ノート ・提出課題 ・製作品 ・小テスト
2	情報社会とディジタル技術	・コンピュータとディジタルデータ ・情報量の単位 ・ディジタルの特徴 ・色、画像、音声のディジタル化 ・インターネットの仕組み ・WWW と電子メール ・情報システムと商取引 ・情報セキュリティ	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a: ディジタル技術や情報システムについて関心を持ち、主体的に探求しようとしている。 b:ディジタル技術や情報システムついて考察し、適切に判断する能力を身に付けている。 c:A/D 変換などの技術を身に付け、適切に活用している。 d:ディジタル技術や情報システムについて理解し、情報社会を安全に過ごすために必要な知識を身に付けている。	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・ノート ・提出課題 ・小テスト ・テスト

	総合実習 プレゼンテーションソフトの活用	・プレゼンテーションソフトの技能および表現方法 ・スライドの作成 ・発表と自己評価、相互評価	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a:プレゼンテーションソフトについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: プレゼンテーションソフトの技能および表現方法について思考を深め、考察し、適切に判断して表現する創造的な能力を身に付けている。 c:プレゼンテーションソフトの技能および表現方法の技術を身につけ、その技術を適切に活用している。 d: プレゼンテーションソフトの技能および表現に必要な知識を身につけている。	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・ノート ・提出課題 ・発表 ・製作品 ・小テスト
3	基本的なアルゴリズムとプログラム	・アルゴリズムとフローチャート ・アルゴリズムの基本構造とプログラム ・簡単なプログラム	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: ビジュアルプログラミング言語に関心を持ち、主体的に探求しようとしている。 b: アルゴリズムやフローチャートについて考察し、適切に判断する創造的な能力を身に付けている。 c:簡単なプログラミング技術を身に付け、適切に活用している。 d:プログラミングに必要な知識を身に付けている。	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・ノート ・提出課題 ・製作品 ・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。